

| | |
|--------------------------|---|
| 目次 | |
| 巻頭言 | 1 |
| 本の周辺／本学教員寄贈著書紹介 | 2 |
| 図書館 Before After／図書館あれこれ | 3 |
| 学生編集スタッフのおすすめ図書 | 4 |



千代田三番町図書館書架

大江文庫から ぶっきげんよう

巻頭言 図書館は「面白い」！ 東京家政学院大学附属図書館へのお誘い

学長 廣江 彰



冒頭から「ぶっそう」な書名ですが『図書館戦争』（有川浩、KADOKAWA/アスキー・メディアワークス、2006年）にこんな言葉がありました。「どうして大人はただ本を面白いがるということを子供に許してくれないのか」そうなんです。私たちが本を手にするのは、まずそれが「面白い」から。だから、義務でも何でも無いはず。でも、「読書課題です」といわれると「面白い」の気持ちも萎えてしまうような気が、といった経験をしたことはありませんか？ではなくて、本を手にとること、本を読むことはただ面白から、だったはず。その記憶が、歳とともに薄れるのかも知れません。そこで、本学附属図書館でみなさんの記憶を呼び覚ましてみませんか？図書館を楽しい「遊び場」として、みなさんの本学4年間で図書館を遊び尽くすこと、それが私のお勧めです。ではどうやって？図書館には、

TDLやUSJのような目立つものではありませんが「アトラクション」が、実はあるんです。図書館の入館ゲートに学生証をかざし、初めての時はちょっとドキドキしたりして無事通過すると、町田キャンパスであれば「ラーニングコモンズ」が目の前に待っています。そこに置かれたプロジェクターを使い、教室とは違った雰囲気でもレクチャーを受ける、小規模な講演会があったりもする、はちょっとしたスタジオ気分になるかもしれません。みなさんが普段読んでいる雑誌は、雑誌架に勢揃いしています。でも、図書館のいいところは、目指した本の隣にふと目をやると「あ、こんな雑誌あったんだ」、がよくあること。思いがけず知らなかったことを知る、は図書館の「楽しみ」のひとつですね。図書館の少し奥で目立たないかも知れませんが、「グループスタディールーム」や個人利用の「キュービクル」といった秘密の小部屋は、みなさんが専門の勉強を深めるのに最適の場所になります。といった、図書館がみなさんを引きつけるもろもろはオリエンテーションで詳しく案内されますから、私の紹介はここまで。あとはご自身で、「面白い」を発掘してください。無尽蔵の「面白い」が埋もれています。

本の周辺

読書と哲学

鈴木 元久

私たちは、自分らしく生きるには、自分の哲学をもたなければならぬ、と世間でよく言われる。自分の哲学をもつために、哲学書を読もうと思うが、どんな本を読んでよいのか途方に暮れる。そこで、とりあえず哲学の専門書や入門書を繙くが、一向に哲学は分からない。先ず、日本語で読んでも、言葉の意味が不明で、文意がさっぱり理解できない。ましてや横文字になると、更に分からない。そこで、哲学は難しい学問であると判断し、哲学書に手を出すことを諦める。そのような経験をしたことのある人は、少なくないであろう。かく言う私もその繰り返しの人生です。

なぜ、哲学書は難解なのであろうか。真理を語り、真実を伝えるためには言葉を用いなければならない。その言葉は人間の歩み・営みによって創り上げられたものであり、哲学を語る言葉にはその歴史が刻み込まれている。そのことを踏まえずして、哲学書に直面しても、言葉によって跳ね返されてしまう。私自身も未だに哲学に向かえども、哲学の壁は高く、堅固である。例え、読み易い言葉で表現されているものでも、表面的な意味は理解できるが、そこに隠された意味深さまではなかなか到らないことが多い。

哲学書を読むことは、哲学を知ることではなく、自らが哲学をすることであると思われる。それは、自分の心で自分の問いに向かい合うことではなからうか、と考えられる。或

『饗宴』著者 プラトン
訳 森 進一
新潮文庫



る学者は、自らの在り方を問うことのできる人間であると言う。例えどんなに些細な、意味なきように思える問いでも、自らに問うことが哲学なのかもしれない。私たち人間は、どうして空は青いのか、どうして花は美しいのか、どうして私は今ここにいるのか、何に向かって生きているのか、など色々なことを考えてきた。私たちは、世界の中で様々な人や物と関わり、その関わり、それらへの対応の仕方を問わなければならない生き物なのかもしれない。そのような自分の問いを、自覚をもって哲学書に、否、哲学に向かう時、隠れていた真実が顕れ現われてくるのかもしれない。哲学を理解する、哲学が分かるということは、そのことをもって生きることができる、ということであろう。

そこで、プラトンの対話篇や原始仏典などを手にすることをお勧めしたい。(例えば、プラトン『ソクラテスの弁明』『饗宴』、原始仏典『真理のこぼれ』『ブッダのこぼれ』等は岩波文庫など文庫化されているので、入手し易いと思う。)これらの書は、とても読み易いと思われる。しかし、読み易いほど、真の理解は難しい。難しいからこそ、その書を通して、自らの問いに答える手懸りが与えられるのかもしれない。

(人間福祉学科 教授)

本学教員寄贈著書紹介

平成28年に寄贈を受けた本学教員の著作等を紹介いたします。ご寄贈いただきましてどうもありがとうございました。今後とも著作物出版の折にはご寄贈いただければ幸いです。

金澤良枝

よくわかる痛風・高尿酸血症を治すおいしい食事
主婦の友社 2016
糖尿病の人の簡単作りおきレシピ 主婦の友社 2016

土谷良己

特別支援教育総論 放送大学教育振興会 2015
先天盲ろうの子どもの共創コミュニケーション
-理論と実際- 盲ろう教育ネットワーク21 2016

中尾俊之

CKD・透析患者の食事療法と運動療法医薬
ジャーナル社 2016

西海賢二

伊勢信仰の地域的展開 抜刷
やまぐち地域社会研究 13号 2015
町田市立自由民権資料館紀要 29
町田市立自由民権資料館 2016
足柄の文化 山北町地方史研究会 2016
コロス、石鎚敬神婦人会報「たかね」 論文多数

敬称略

学生編集スタッフによる 図書館 BEFORE AFTER

▼町田キャンパス



Before

町田キャンパスの1F、高い天井に天井が近くて種ろにはバックナンバーがありました。

After

なんとということでしょ! 楽しい会話も弾み、広々とした明るい空間のラーニング commons に!



▼三番町キャンパス



Before

図書館になる前はなんと学生ラウンジ! 有名なパン屋さんが入っていたこともあるそう。ただ、値段が高くて早々に撤退されました...(; ;)

After

こちらが現在の三番町図書館。モダンな雰囲気漂っています。特徴的なソファが気になりますね。



図書館あれこれ 第4回 他キャンパスにある図書の取り寄せ!!



欲しい本を検索!



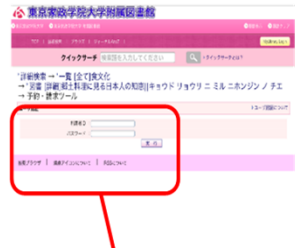
この本を借りたい! クリック!



この本、他キャンパスにしか置いてない...予約して取り寄せよう! クリック!



受け取り先を選択⇒予約をクリック!



利用者 ID : 学籍番号
パスワード : My library のパスワードを入力!
※パスワードの初期設定は学籍番号

実行を押して
取り寄せ完了!

町田は、水・金に
三番町は、火・木に本が届くよ
(例えば、町田キャンパスの場合、
火曜日の午前中までに予約をすると水曜日に届きます)

本が届いたら図書館内の掲示板上で呼び出し!
Mylibrary にメールアドレスを設定しておく
メールでもお知らせ。



学生編集スタッフのおすすめ図書

図書館報の学生編集スタッフがおすすめする、生活と人生と勉強に役立つ、図書館にある楽しい本の数々です。他キャンパスの図書は取り寄せて読んでみよう!!



美人だけが知っている似合う服の原則

似合う色について細かく解説してあり、自己診断の設問も割と細かくやりやすいです。似合う色の雰囲気ごとのメイク方法や髪色も載っているので参考になると印象がよくなるかも。

町田 請求番号 593.36/ヤ 32



おちくぼ姫

平安朝時代のシンデレラストーリー。貴族の身分であるのに、意地悪な継母から一段くぼんだ部屋で一日中縫い物をさせられ。そんなある日貴公子が姫君の噂を聞きつけ…可憐な美しさで心優しいおちくぼ姫に惹かれていきます。

町田 請求番号 文庫/タ 71

字幕屋に「(てん)」はない ：字幕はウラがおもしろい

字幕翻訳家が、1秒4文字ルールなどの、字幕作成の約束事を紹介している本です。これを読むと、映画字幕の裏側が分かり、より字幕を楽しむことができます。

三番町 請求番号 801.7/オ 16



キレイならいいのか-ビューティバイアス

「容姿による差別」はいかに起こるのか。研究者デボラ・L・ロードがこの問題を歴史的文化的背景から掘り起し、医療業界やメディアの功罪を暴き、法的保護の作用までを徹底的に分析・検証します。

三番町 請求番号 367.2/口 11



マチルダは小さな大天才

天才少女マチルダが理不尽な大人に仕返する物語。父親の帽子に接着剤を塗ったり、校長先生に念力で水をかけたり。天才なマチルダだからこそ思いつく仕返しばかり!

町田 請求番号 933/タ 89

世界のジョーク事典

様々な国のジョークを数行の例文で紹介しています。一つ一つの話が短く読みやすいため、空き時間や通学中の気分転換におすすめです。

三番町 請求番号 908.7/マ 45



家族という病

日本人の多くが「一家団欒」という言葉に憧れ、そうあらねばならぬという呪縛にとらわれている。しかし、「家族」とは、それほどすばらしいものなのか。著者は「家族のことしか話題がない人はつまらない」と一刀両断、家族の実態をえぐりつつ、「家族とは何か」を提起する一冊です。

三番町・町田 請求番号 367.3/シ 64



ムーミンママのお料理の本

深い緑の谷に住むムーミンとロールの仲間たちが食べているわくわくするようなレシピ。見ているだけでお腹が空いてきます。ムーミンたちとおいしい!を楽しめる一冊です。

町田 請求番号 596/ヤ 60



夜は短し歩けよ乙女

先輩と彼女の二つの目線で書かれた恋愛ファンタジー。ナカメ作戦(なるべく彼女の目にとまる)で先輩の恋は実るのか...今年映画化の注目☆小説です!

町田 請求番号 文庫/ヤ 60



似合う服の法則でずるいくらい美人になっちゃった!

「似合う服が分からない!」という人に是非目を通して欲しい一冊。苦手な服の着こなしも解説しているところがおすすめ。友達や家族と一緒に読むと楽しいと思います。意外な服が似合うかもしれませんよ...

町田 請求番号 593.36/リ 10



夏の花火と私の死体

乙一のデビュー作。死体になった'私'の視点で進行され、兄妹は'私'を隠すべく悪夢のような四日間を過ごすときどきで読み進めたい小説です。

町田 請求番号 文庫/オ 71

みかんの面白いむき方大百科

寒い冬、コタツの中でぬくぬく、そしてワイワイみかんをむいて過ごしたくなるような一冊です。

町田 請求番号 798/ナ 27



大江文庫からごきげんよう

東京家政学院大学 図書館報 第63号

ISSN 2189-2881

平成29年3月31日 発行

発行者：東京家政学院大学附属図書館

〒194-0292 東京都町田市相模町2800

電話：042-782-9816